

令和5年度第2回  
運営推進会議資料

頓原デイサービスセンター

## 利用料金

### 通所型サービス

(要支援1 月4回 要支援2 月8回の利用の場合)

(1ヶ月あたり)

	負担金	食事代	おやつ代	合計
要支援1	2,053円	2,320円	200円	4,573円
要支援2	3,960円	4,640円	400円	8,996円

※上記金額は1割負担対象の方です。

※食事1食580円、おやつ代1日50円、時間延長なし。

### 地域密着型通所介護

(1日あたり)

	負担金	食事代	おやつ代	合計
要介護1	927円	580円	50円	1,557円
要介護2	1,073円	580円	50円	1,703円
要介護3	1,224円	580円	50円	1,854円
要介護4	1,374円	580円	50円	2,004円
要介護5	1,523円	580円	50円	2,153円

サービス提供体制加算 6単位 入浴介助加算 55単位 個別機能訓練加算 56単位 介護職員処遇改善加算Ⅰ(加算率5.9%) 介護職員特定処遇改善加算Ⅱ(加算率1.0%)を含む。

※上記金額は1割負担対象の方です。

利用状況 (4月～2月)契約者数 52名 男17名 女35名 平均介護度 1.70 平均年齢 88.1歳



	利用延べ人数	営業日数	1日の利用人数	利用率
4月	325	26	12.50	69%
5月	363	26	13.96	78%
6月	354	26	13.62	76%
7月	366	26	14.08	78%
8月	383	27	14.19	79%
9月	369	26	14.19	79%
10月	340	26	13.08	73%
11月	321	26	12.35	69%
12月	328	26	12.62	70%
1月	300	24	12.50	69%
2月	303	26	11.65	65%
		平均人数	13.16	

## 職員体制

管理者1名  
生活相談員2名(うち1名兼務職員)  
介護職員4名  
看護職員2名(うち1名兼務職員)  
機能訓練指導員(理学療法士)1名  
その他の職員

## 主な行事実施状況

月	行事名	職員研修
4月	ドライブ(大和・志津見)	
5月	ドライブ(三瓶)	
6月	ドライブ(志津見)	
7月		口腔衛生研修
8月		認知症研修・身体拘束研修・緊急時対応研修
9月		事故防止研修
10月	ドライブ(大和)・火災訓練	ハラスメント研修・褥瘡予防研修
11月	祭り見学	感染対策研修・口腔衛生研修
12月	クリスマス会	身体拘束研修・プライバシー個人情報保護研修
1月		事故防止研修・看取り研修
2月	災害訓練	高齢者虐待防止研修・褥瘡予防研修
3月		感染対策研修・苦情処理研修

※定期行事として作品作り、カレンダー作りを実施

## 介護保険外サービス状況

・おむつの販売

15名利用 82個(2月末)

## 令和5年度リスクマネジメント状況

種 類	事故報告	ヒヤリハット報告	合 計	
転 倒	3		3	42.9%
転 落	1		1	14.3%
誤 嚥	2		2	28.6%
表皮剥離 皮下出血			0	0.0%
車内転落		1	1	14.3%
合 計	6	1	7	
	86%	14%		

発生場所    デイサービスホール

状況・経過    ホールで一人で歩かれていて転倒される。転倒時に手をつかれたが、右額を床に打たれる。意識ははっきりしており、その場から起こし、主任、看護師に報告。頭部打撲、切創があるため、受診する。家人、病院へ連絡。

処理・処置    受診前までクーリング施行。右額打撲、腫脹、切創あり。  
受診し頭部CTに異常なし。様子観察となる。  
食事は痛みがあり食べれないとの事。意識レベル異常なし。嘔気もない。  
茶話会に参加され、退所される。

状況・要因分析    行動理由は不明だが、一人で歩かれていた。身体機能は一人で行動できるレベルではない。  
ホールには常時2名の職員を配置しているが、事故の際、どちらもホールに居なかった。  
職員がその場に居なかったために生じた事故である。

今後の対応    ご利用者には自由に行動していただいているからこそ、その場に配置された職員各々が責任感を持って行動する。  
場を離れる際は声掛け等で情報を共有する。または、パートナーである職員の動きを把握し、個人で臨機応変に行動する。

### 【発生場所】

	ホ ー ル	居 室	浴 室	車 内
事故報告	4	1	1	
ヒヤリハット報告				1

## 介護予防事業所 にじいろ

サービス提供時間/場所

・9時～13時/頓原公民館

ご利用対象者

・事業対象者、要支援1、要支援2の方

利用定員

・10名 火曜日 8名(女性)

・10名 木曜日 7名(女性)

サービス提供日

・毎週火、木曜日

(月4回実施)(祝日は除く)



送迎区域

・飯南町頓原地域(通常の実施区域)

(火曜日 上区、敷波地区、佐見 木曜日 長谷、町)

サービス内容

・介護予防事業所にじいろは、体操と予防活動(買い物等)を組み合わせた事業です。  
(体操) (買い物)

利用回数、利用料金

①月4回利用

②料金 1割負担 月1,388円

2割負担 月2,776円

※おやつ代1日につき30円

主な行事実施状況

	行 事 名	内 容
4月	桜花見	4/4やまなみ会食(琴引の里) 4/6加田の湯会食(お大師桜)
5月	ポタン園 運動機能評価	5/2,5/9赤名ポタン園(一福でテイクアウト) 5/18 5/23 運動機能評価
6月	ポピー見学	6/6,6/8志津見ポピー見学(うぐいす茶屋で会食)
7月	栄養指導	7/13,7/18栄養指導 三島栄養士・田村保健師
8月	マジックショー	8/17,8/22 マジックショー三嶋清志さん
9月	絵手紙 ミニ遠足(町外へ)	9/7、9/12 絵手紙 公民館 戸田さん 9/19食事会 やまなみ 9/21食事会 ごんべい茶屋
10月	赤名りんご園	10/24,10/26 赤名りんご園
11月	ミニ遠足(町外へ)	11/16,11/21(うぐいす茶屋)
12月	忘年会(昼食会)	12/14 頓原小学校交流 12/21,12/26 オカリナ演奏(クリスマス会)
1月	新年会	1/4、1/9 カルタ 1/18、1/23 新年会会食(エルシー弁当)
2月	防犯研修	2/13、2/15 防犯研修(頓原駐在所) 2/22、2/27 口腔体操
3月	運動機能評価 避難経路確認	3/12、3/19 運動機能評価 3/19、3/21 安田先生写真 3/26、3/28 避難経路確認

# 令和5年度事業反省

部署名 デイサービス

## ○サービス目標

サービス目標	課題	目標反省
ご利用者数を増やす	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規ご利用者確保</li> <li>・キャンセル</li> <li>・SS利用による休み</li> </ul>	前期は利用者数は良かったが、入院や施設入所があり、後期は低下した。複数回、利用されている方が入所になり、その埋め合わせ、新規利用者の獲得が課題。
ご利用者、ご家族に信頼されるサービスを提供する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者、ご家族の要望を把握し、サービスに取り入れる</li> <li>・ご利用者の状態把握</li> <li>・ご家族の状況把握</li> <li>・レクリエーション等サービスの多様化と充実</li> </ul>	看護師が2名になり、利用者の状態把握や健康観察は手厚く行えるようになった。利用者側も常時、看護師が居ることで安心していると思われる。レクリエーションは日に複数回、実施しており、多様化している。

## ○事業計画

事業計画	課題	計画反省
レクリエーションや個別活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動のマンネリ化</li> <li>・ご利用者の状態に合った活動</li> <li>・活動資材の購入</li> </ul>	担当ごとに様々なことを考え、活動の幅は広がった。研修や動画サイト等を参考に独自のモノは出来上がっている。但し、内容を盛れば盛るほど難しくなるため、各々が利用者の状態を考えて活動する必要がある。職員の自己満足で終わらない。
季節毎の行事活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ対策</li> <li>・外出先の選定</li> </ul>	5類になり、活動の幅は広がったものの、屋外での活動は少なかった。職員数も増えて対応しやすくなっているので来年度は多くの屋外活動を計画する。
他事業所との連携		適宜、連絡を取りながら連携を図っている。
職員の技術の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修時間の確保</li> <li>・ケアの統一性</li> </ul>	各々の都合ではあるが、参加する者、しない者の差がある。昼間の研修が増えればいい。朝礼や終礼での情報共有はこれからも継続していく。

## ○対応策留意事項等

- ・
- ・
- ・

# 令和6年度事業計画

部署名 デイサービス

## ○サービス目標

サービス目標	課題	対応策(事業目的・目標値・実施時期等)
ご利用者数を増やす	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規ご利用者確保</li> <li>・キャンセル</li> <li>・SS利用による休み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅ケアマネージャーと情報共有し積極的な利用に繋げる。月平均利用人数を16人台目標とし、最低でも14人平均は利用されている状況にする。</li> <li>・受診によるキャンセルは、前後の日に振りかえを提案する。</li> <li>・SS利用の為、キャンセルが多い方は予備枠とする。</li> </ul>
ご利用者、ご家族に信頼されるサービスを提供する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者、ご家族の要望を把握し、サービスに取り入れる</li> <li>・ご利用者の状態把握</li> <li>・ご家族の状況把握</li> <li>・レクリエーション等サービスの多様化と充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電話連絡や利用記録による関係機関との情報共有</li> <li>・送迎時等の家族とのコミュニケーション</li> <li>・職員間の情報共有</li> <li>・感染症対策の物品整備。</li> <li>・状態や状況に見合った活動を提供</li> </ul>

## ○事業計画

事業計画	課題	対応策(事業目的・目標値・実施時期等)
レクリエーションや個別活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動のマンネリ化</li> <li>・ご利用者の状態に合った活動</li> <li>・活動資材の購入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日課の見直し</li> <li>・個別活動メニューを増やす</li> <li>・活動資材の購入</li> <li>・他事業所との情報交換。</li> </ul>
季節毎の行事活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ対策</li> <li>・外出先の選定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節毎の行事を継続し、季節を実感して頂けるようにする</li> <li>・外出の不向きな方への対応を考え、別メニューを行う</li> <li>・地域のコロナ感染状況の把握</li> <li>・他事業所との情報交換</li> </ul>
他事業所との連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用記録の詳細記入。口頭(電話)での情報提供や確認。</li> </ul>
職員の技術の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修時間の確保</li> <li>・ケアの統一性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内外の研修へ参加</li> <li>・職員間でのコミュニケーションを更にはかり、ご利用者やサービスに対する共通認識をもつ。</li> </ul>

## ○対応策留意事項等

- ・
- ・
- ・

## 第1回頓原デイサービスセンター運営推進会議会議録

開催日	令和6年3月26日(火)	開催時間	14:00～15:00	記録	倉橋直之
参加者	宍戸様(地域包括支援センター)      伊藤様(地域住民代表) 田中(園長)、光田(事務長)、倉橋(生活相談員)				
議題	1、頓原デイサービスセンター、にじいろの活動報告 2、デイサービスセンター事業計画 3、意見交換				
会議内容	<p>1、<u>頓原デイサービスセンター活動報告</u> 別紙 運営推進会議資料にて報告</p> <p>2、<u>頓原デイサービスセンター事業計画報告</u> 別紙 運営推進会議資料にて報告</p> <p>デイサービスでの活動見学を行う 質問等</p> <p>Q、デイサービスの事業計画に家族からの要望とあるがどのような要望があるのか。 A、自宅で入浴が出来ない又は、十分に清潔が保てていないのでデイサービスにて入浴をお願いしたいというものが多い。デイサービスにて入浴実施できている。</p> <p>Q、年間計画に研修が多いがどのように行っているか。 A、日中の短時間での研修を複数回行い、時間の都合で参加できない職員も受けられている。</p> <p>Q、普段は家だけで過ごしている利用者がデイサービスに行くときどのように過ごしているのか。 A、人と話す機会、外出する機会が増えることが一番と考えている。 他者との交流はとても良い刺激になっている。</p>				
次回開催予定	令和6年10月				